

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 28 日 (2017.9.28)

【公開番号】特開 2016-148404 (P2016-148404A)

【公開日】平成 28 年 8 月 18 日 (2016.8.18)

【年通号数】公開・登録公報 2016-049

【出願番号】特願 2015-25685 (P2015-25685)

【国際特許分類】

F 1 6 K 3/02 (2006.01)

F 1 6 K 51/02 (2006.01)

F 1 6 K 27/04 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 3/02 A

F 1 6 K 51/02 B

F 1 6 K 27/04

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 16 日 (2017.8.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

図 4 (a) の予備状態から前記固定螺子 1 8 をねじ込むと、該固定螺子 1 8 は回転しながら前進するが、前記カム部材 2 3 は、前記カム部材嵌合部 2 2 の内部を非回転状態で前進し、図 5 (a)、(b) に示すように、前記カム部材 2 3 の先端の押圧面 2 3 a が前記カム部材嵌合部 2 2 の底面の被押圧面 2 2 a に当接する中間締込位置に達する。このとき、前記カム部材 2 3 のカム面 2 0 がカム受け面 2 1 に沿って滑りながら該カム受け面 2 1 を押すため、前記弁板収容枠 4 には、螺子軸線 L 2 と直交する方向の垂直分力が推進力として作用し、この推進力によって前記弁板収容枠 4 は、チャンバ 1 の第 2 の室壁 2 b 側に向けて押し動かされ、第 2 の枠壁 4 b が第 2 のシール部材 1 1 b を圧縮して前記第 2 の室壁 2 b に押し付けられた状態になる。このとき、前記第 2 の枠壁 4 b の壁面 4 c は、前記第 2 の室壁 2 b の内面に接触していても良いが、該内面との間に僅かなギャップを介して前記第 2 の室壁 2 b から離間していることが望ましい。